

APLAUDO

超高耐候低汚染水性2液形無機塗料  
CIE LUSTER-MK  
シエラスター



超高耐候超低汚染環境配慮型ハイスペックシステム

APLAUDO  
CIE LUSTER-MK  
シエラスター



NIPPE  
CRYSTA-COAT  
ニッペ クリスタコート



Basic & New  
NIPPON PAINT

# 「無機」の可能性を広げる、 次世代型塗料。

アプラウド シェラスターMKは、特殊無機系成分を主体とした2液常温反応硬化形の水性無機塗料です。

熱や紫外線に対して安定なポリシロキサンを、柔軟性にすぐれた特殊有機成分を用いて変性したハイブリッドタイプ。

無機の特長であるすぐれた耐候性と、有機の特長である耐屈曲性・

耐クラック性の双方をあわせもつ次世代の塗料です。

特に、耐候性ではフッ素樹脂塗料を超えるすぐれた性能を有し、

紫外線、酸性雨などの劣化因子から躯体を長期にわたり保護することができるため、

マンション・ビルディングや鋼構造物などの塗り替えの

ライフサイクルコストを抑えることが可能です。

APLAUDO  
CIELUSTER-MK  
シエラスター

超高耐候低汚染水性2液形無機塗料



【CIELUSTER MK】

仏語で「空、天」を意味する“CIEL”と英語で「光輝、光らせる」を意味する“LUSTER”を組み合わせた造語で、“大空のもと、その建物をいつまでも輝かせる塗料でありたい”との意志を形にしました。

Next  
Generation

# 無機成分が持つ「強さ」「硬さ」をベースに、 有機成分で弾性をプラスしました。

日射や大気汚染、寒暖の差など、都市の屋外環境は、建物の塗膜にとって大変厳しいものです。アプラウド シェラスターMKは、強く硬い塗膜をつくる無機を主成分に、有機成分を加えることで、無機がもつ弾性の低さをカバー。厳しい条件下でも、長く輝き続ける塗膜を実現しました。

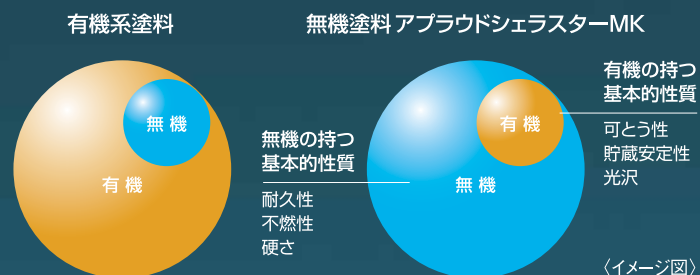
## 「無機塗料」とは…

「無機」とは炭素化合物(=有機)以外の化合物の総称です。そして、塗料における「無機」とは、ケイ素(Si)を多く含有するものを指します。石やガラスのように、炭素を含まない無機物は化学的に非常に安定していることが特長。このため、無機系塗料は耐候性にすぐれており、フッ素樹脂塗料を超える塗料として期待されています。

強く緻密な塗膜をつくる無機系塗料ですが、その反面、弾性に乏しく曲げに弱いという特徴があります。アプラウド シェラスターMKは、無機系塗料に有機系塗料の長所をプラス。両方の長所をうまくミックスさせることで、塗料として理想的な性能を実現しています。

## 「無機成分」を主体にしたハイブリッド塗料

従来の塗料は有機成分が主体で、そこに無機成分をプラスするものでした。アプラウド シェラスターMKは、耐候性にすぐれた無機成分を主体にし、有機成分の長所をプラスした「ハイブリッド塗料」。主成分の違いが、大きなメリットをもたらしています。



## 日本ペイントが考える「無機塗料」とは

現在、「無機塗料」は、化学的にも業界内にも定義されていません。日本ペイントでは、以下の定義をもってアプラウド シェラスターMKを「無機塗料」としています。

- 社会通念上無機塗料として求められる性質(耐久性、難燃性、硬さなど)を十分に有していること。
- 無機物の特性(耐久性、難燃性、硬さなど)を有しながら、塗料として必要とされる性質(可とう性、貯蔵安定性、光沢など)も合わせ持ち、既存の塗料と比べて申し分なく使用できること。



## 水性無機という、環境を考えた選択

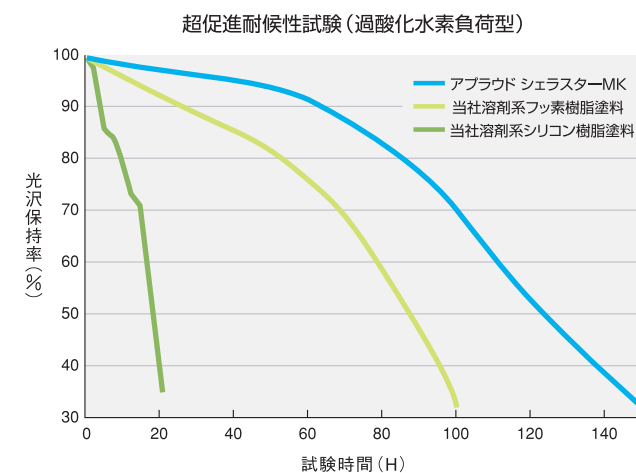
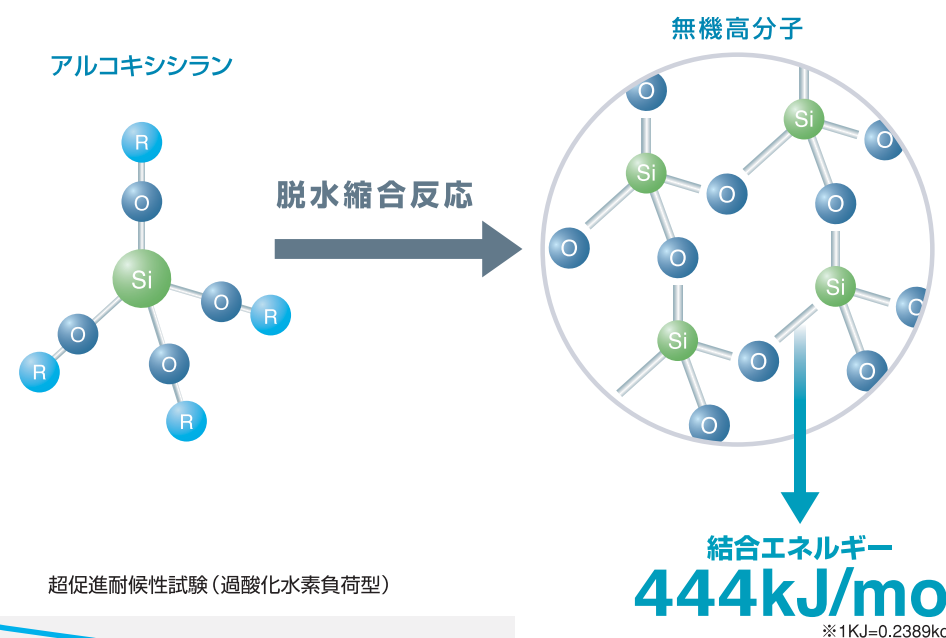
建物の塗り替えという用途を考えた場合、重要になるのが環境性能です。アプラウド シェラスターMKは、溶剤系塗料と比べ、ニオイやVOC(揮発性有機化合物)を低く抑えることができる、水性無機塗料。周囲への影響を抑えることができます。

## 超耐候性

### 無機高分子の結合力が生み出す超耐候性

アプラウド シェラスターMKは、アルコキシシランに代表される無機質ポリマーを主成分とする塗料です。無機高分子によるSi-Oの結合エネルギーは106kcal/mol(444kJ/mol)と大変結びつきが強いことが特長。

紫外線エネルギー95kcal/mol(410kJ/mol)に比べても高く、また無機成分が、樹脂骨格の主成分であるため、耐候性に極めてすぐれています。



## アプラウド シェラスターMKの 耐候性

超促進耐候性試験においても、すぐれた性能を発揮。長期にわたり美しさと性能を維持できるアプラウド シェラスターMKなら、塗り替えが困難な建物のライフサイクルコストを抑えることができます。

## 低汚染性

### 親水化・高密度架橋によりよごれに強い

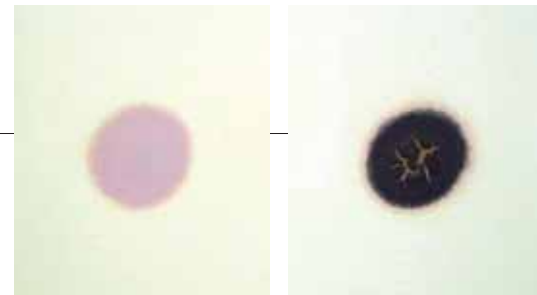
シロキサン結合により緻密な膜を形成するアブラウド シェラスターMK。雨などによるよごれが付着しにくい。え、汚染物質が塗膜内部に入りづらいため耐汚染性にすぐれています。

## 難燃性・高硬度

### 無機塗料だから可能になった 難燃性と高硬度

アブラウド シェラスターMKは主成分が無機質のため、高硬度で高い難燃性を持っています。燃焼実験においても、そのすぐれた難燃性を実証。大切な建物の外壁を末永くまもります。

トーチバーナーで5秒間燃焼(約1700℃)



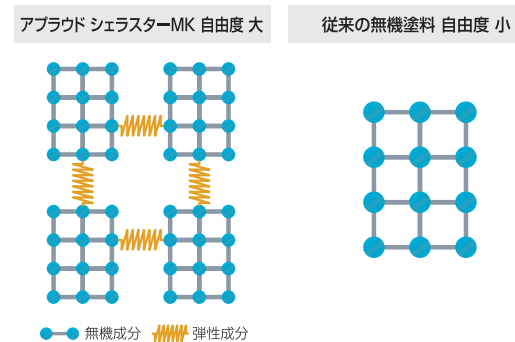
アブラウド シェラスターMK

従来の有機質塗料

## 弾性適性 - 有機特性

### 無機塗料でありながら弾性仕様も可能

無機塗料は、三次元に形成されるシロキサン結合により、硬く緻密な塗膜を形成します。その反面、脆くて割れやすいという性質を持っています。アブラウド シェラスターMKは、硬くて脆い無機成分の間に柔らかい弾性成分が分子レベルで入ることによりサスペンション効果が得られ、硬くても割れにくい塗膜が形成されます。また、クラック追従性があり防水効果を高める「弾性仕様」も可能です。



アブラウド シェラスターMK

従来の無機塗料



メタルハイドランプ式で促進耐候性試験をした結果、1400時間が過ぎても光沢が失われない。



メタルハイドランプ式で促進耐候性試験をした結果、600時間でクラックが入り光沢が失われる。

アブラウド シェラスターMKは、自然環境下での塗膜の強さを確認する「促進耐候性試験(メタルハイドランプ式)」においても、他の塗料に比べクラックがおこりにくく光沢を長く持続させることができることを証明しています。

## 超高耐候・超低汚染 環境配慮型ハイスペックシステム



### 超高耐候性と超低汚染性の両立を、高いレベルで実現。 重ね塗りで、理想に近づく。

建物は常に、車の排気ガスやホコリなど、よごれやすい環境にさらされています。そのため塗料は、耐候性だけでなく、耐汚染性にもすぐれていることが理想です。そこで、フッ素を超える耐候性を持つ「アブラウド シェラスターMK」を塗装した上に、超親水性を持つ「無機系超低汚染コーティング剤 ニッペ クリスタコート」を重ね塗り。親水性超薄膜で覆うことで、壁によごれが付着しにくく、付着したよごれも雨水がきれいに洗い流し、より長く美観を保つことができます。

- 水性無機仕様だから、環境にやさしい。
- 当社最高レベルの耐候性・耐汚染性を実現。
- 塗り替え頻度が少なくてすむため、メンテナンスコストを大幅に削減。
  - ・「アブラウド シェラスターMK」の超高耐候性が塗り替え周期を長くします。
  - ・「ニッペ クリスタコート」の超低汚染性で美観を長期間保ちます。
- 無機系塗料同士の組み合わせなので相性抜群。



NIPPE 無機系超低汚染コーティング剤  
**RYSTA-COAT**  
 ニッペ クリスタコート

自然の恵み(降雨)を利用して、美観を保つ。

「ニッペ クリスタコート」は、独自の無機技術から生まれた超低汚染コーティング剤です。乾燥直後から超親水性(=超低汚染性)機能を発揮します。

〈特長〉

- 1 当社最高レベルの「超低汚染性」
- 2 すぐれた弾性適性
- 3 ローラー、はけ、スプレーでの施工が可能
- 4 非危険物(水性)1液タイプ

当社最高レベルの超低汚染性

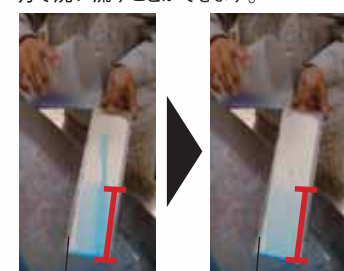


東西南北、暗所でも超低汚染性を発揮します。  
 <雨だれ汚染暴露試験-2年経過後->  
※大阪府の交通量の多い国道沿いで実験。  
 一般水性塗料の塗膜上半分にニッペクリスタコートを塗装した試験板を屋外に2年間曝露しました。  
 ニッペクリスタコートを塗装していない部分にはかなりのよごれが付着していますが、塗装面にはほとんどよごれが見られず、超低汚染性を発揮していることがよくわかります。

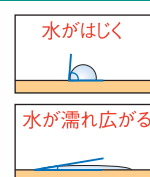
ニッペクリスタコート塗装面

乾燥直後から「超親水性」を発現

乾燥直後から水と馴染みやすくなります。これにより、表面によごれが付着しても、水の力で洗い流すことができます。



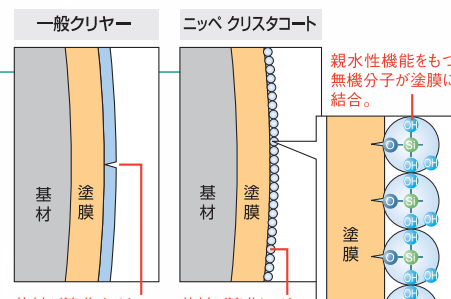
ニッペクリスタコート塗装面



<親水性試験>  
 一般水性塗料の塗膜下半分にニッペクリスタコートを塗装し、乾燥後、上から着色水をかけました。(写真左)ニッペクリスタコート塗装面は着色水が濡れ広がり、水と馴染んでいることがわかります。(写真右)

ニッペクリスタコートのメカニズム

塗膜表面に親水性基(-OH)をもった無機分子が並んで定着します。それらが独立して塗装表面に結合するため、ニッペクリスタコートのフレによる外観の変化や親水性機能の低下を招く心配が少なく、塗り替え直後の美しい外観を長く保つことができます。



基材が湾曲すると、フレが発生。既存の外観を損なってしまふ。  
 基材が湾曲してもフレにくい。

塗装仕様 [新設の場合]

コンクリート・モルタル面		平滑仕上げ					
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	1~2	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー・エアレス
上塗り1	アブラウド シェラスターMK	1	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス
上塗り2	アブラウド シェラスターMK	1	0.14~0.18	16時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス
オーバーコート	ニッペ クリスタコート	1	0.04~0.08	—	—	—	はけ・ローラー・エアスプレー

※ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ※ 他の仕様でも同様に、アブラウド シェラスターMK塗装後に使用可能です。アブラウド シェラスターMK塗装後、必ず16時間以上あけてから、ニッペ クリスタコートを塗装してください。

コンクリート・モルタル面		吹付けタイル仕上げ					
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	1~2	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー・エアレス
主材	ニッペタイルラック EPO-Sベース (水性エポキシ樹脂系複層塗材RE 主材)	1	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	吹き付け
上塗り	アブラウド シェラスターMK	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス

※ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

コンクリート・モルタル面		弾性凹凸仕上げ					
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	1~2	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー・エアレス
中塗り1	ニッペDANタイル中塗り (アクリルゴム系エマルジョン)	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	吹き付け
中塗り2	ニッペDANタイル中塗り (アクリルゴム系エマルジョン)	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~4	吹き付け
上塗り	アブラウド シェラスターMK	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス

※ ヘッド押さえ仕上げの場合、押さえ用ローラーに塗料用シンナーAを含ませて、中塗り2工程終了直後から30分の間に押さえてください。  
 ※ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

一般鉄部		平滑仕上げ					
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、ほこり、よごれ、油脂なども入念に除去する。						
下塗り	ニッペハイボンファイプライマーII (弱溶剤2液形エポキシさび止め塗料)	1	0.16~0.18	4時間以上 5日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー
上塗り	アブラウド シェラスターMK	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス

※ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

## 塗装仕様 [改修の場合]

コンクリート・モルタル面		なみがた仕上げ					
工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ゴミ、砂塵、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮スキ、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り (下塗り)	ニッペDANフィラーエゴ	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り1	アブラウド シェラスターMK	1	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス
上塗り2	アブラウド シェラスターMK	1	0.14~0.18	16時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス
オーバーコート	ニッペ クリスタコート	1	0.04~0.08	—	—	—	はけ・ローラー・エアスプレー

※ 上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ※ 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。  
 ※ 塗り替えの場合で下地が弱い弱な場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。  
 ※ 他の仕様でも同様に、アブラウド シェラスターMK塗装後に使用可能です。アブラウド シェラスターMK塗装後、必ず16時間以上あけてから、ニッペ クリスタコートを塗装してください。

コンクリート・モルタル面		なみがた仕上げ (高防水仕様)					
工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ゴミ、砂塵、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮スキ、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り1 (下塗り)	ニッペDANフィラーエゴ	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
中塗り2 (中塗り)	ニッペDANフィラーエゴ	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り	アブラウド シェラスターMK	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス

※ 上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ※ 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。  
 ※ 塗り替えの場合で下地が弱い弱な場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。

コンクリート・モルタル面		平滑仕上げ					
工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ゴミ、砂塵、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮スキ、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性シルクシーラー厚膜	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	ウールローラー
上塗り	アブラウド シェラスターMK	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス

※ 上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ※ 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。  
 ※ 塗り替えの場合で下地が弱い弱な場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。

アルミカーテンウォール・一般鉄部							
工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去してください。さびは、電動工具やサンドペーパー研磨布などを用いて除去清掃してください。						
(補修塗り)	ニッペハイボン ファインプライマーⅡ	1	0.16~0.18	4時間以上 1ヶ月以内	塗料用シンナーA	0~10 0~5	はけ・ローラー・エアレス
下塗り	ニッペハイボン ファインプライマーⅡ	1	0.16~0.18	4時間以上 1ヶ月以内	塗料用シンナーA	0~10 0~5	はけ・ローラー・エアレス
上塗り	アブラウド シェラスターMK	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	ウールローラー・エアレス

※ 上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ※ 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。  
 ※ さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。  
 ※ 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りを塗るか、ペーパーをかけるなどしてください。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

### ■ 塗装基準

商品名	系 統	荷 姿	色 相	つ や	塗り面積 / 缶あたり / 1工程	ポットライフ
アブラウド シェラスターMK	超高耐候低汚染水性 2液形無機塗料	16kgセット 塗料液15kg、硬化剤1kg	各色	つや有り	88~114m <sup>2</sup>	4時間以内 (25~35℃) 6時間以内 (15~25℃) 8時間以内 (5~15℃)
ニッペ クリスタコート	無機系超低汚染コーティング剤	8kg	無色 透明	—	100~200m <sup>2</sup>	—

### ■ 施工上の注意事項

※詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください

#### 〈アブラウド シェラスターMK〉

- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 状況により、汚染が発生しそうな箇所には、ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装することをおすすめします。
- 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。むら発生の原因になります。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露の場合は、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出する場合もあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、しみが発生するおそれがありますので、塗装を避けるか強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。しみが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥しますと元に戻ります。
- 乾燥した塗膜に付いたよごれは、シンナーなどでは拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。状況により保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 乾燥条件によっては塗膜に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸い込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどのある場合は、打ち直しを行ってください。
- 蓄熱されやすい建材(軽集モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、pH9以下)
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 新設仕様の場合や、塗り替え時で、シーラーが必要と判断される場合などは、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

#### 〈ニッペクリスタコート〉

- 液だれしやすいため養生をしっかりと行ってください。また、ローラー塗装する場合には、ローラーをよくしごいて塗装してください。
- 濃彩色の上には、つやむらが発生するので塗装しないでください。
- ニッペ クリスタコートを塗装すると、塗装前と比較して僅かに光沢が低下する傾向にあるので、下地の形状などにより、むらとして目立つ場合があります。特に平滑仕上げ面では短毛ローラーなどを使用して、できるだけ均一に塗装してください。(平滑仕上げ面での推奨塗具:短毛ローラー、のり刷毛、エアスプレー、低圧スプレー)
- 各種上塗りの上に塗り重ねる場合には、上塗り塗装後、必ず16時間以上あけてください。塗り重ね時間が短いと仕上がりが不良、性能低下などの原因になります。

- 素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに付いたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- 調色には必ず専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、及び補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、及び補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ珪酸鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。またこれらの部材に塗膜が直接触れないようにもご配慮ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸い込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

- 塗り忘れ部分には、よごれが発生する可能性があります。塗装は、目地、面、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。
- 研磨、高圧洗浄など物理的に負荷をかけた場合、性能を発揮しなくなるおそれがあります。
- シーリング材からの可塑剤の流出が多い場合など、よごれの負荷が大きい場合には、十分な効果が発揮できない可能性があります。また、錆汁汚染、鳥糞などに対しては効果が発揮しません。
- 水性塗料ですがアルコール分を含んでいますので、若干のアルコール臭がします。

## ■安全衛生上の注意事項（アブラウド シェラスターMK 塗料液／硬化剤・ニッペ クリスタコート）

- 本来の用途以外に使用しないでください。
  - 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
  - 熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。
  - 容器を密閉してください。
  - 容器および受器を接地してください。
  - 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
  - 火花を発生しない工具を使用してください。
  - 粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないでください。
  - 必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
  - この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
  - 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
  - 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
  - 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
  - 飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
  - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
  - 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けてください。
  - 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
  - 取り扱い後、手を洗ってください。
  - 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
  - 暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
  - 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
  - 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
  - 水を消火に使用しない。
  - 容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
  - 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
  - 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
  - 直射日光や水濡れは厳禁です。
  - 積み重ねは3段までとしてください。
  - 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
  - よくふたをし、5℃～40℃の屋内で貯蔵してください。
  - 内容物／容器を廃棄するときには、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
  - 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
  - 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 ■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。  
 ■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

### 危険

### 危険有害性情報



- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・水生生物に有害(急性)
- ・長期的影響により水生生物に有害
- ・環境生物または環境を経由して人の健康に影響を与えるおそれのある物質を含有している
- ・高温になると引火、燃焼するおそれがある
- ・重篤な眼への刺激
- ・皮膚に接触すると有害のおそれ
- ・腐食性がある
- ・皮膚、粘膜を刺激するおそれがある
- ・遺伝性疾患のおそれ
- ・臓器の障害(単回暴露)
- ・長期または反復暴露による臓器の障害
- ・燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発のおそれがある。
- ・生殖能力・または胎児への悪影響のおそれ

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●©Copyright2008 NIPPON PAINT Co., Ltd. All right reserved.

**日本ペイント株式会社**

お客さまセンター

03-3740-1120

06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●ISO14001を全事業所で認証取得。 ●このカタログは再生紙を使用しています。



地球と生きる  
**ECO Action 21**

カタログNo.

NP-M139

KE081006T

2008年10月現在